

マスク描画装置の新しいコントロールプラットフォーム「Evo」を発表

Mycronic AB（マイクロニック、本社：スウェーデン、日本法人：マイクロニックテクノロジーズ株式会社、東京都調布市、代表取締役社長：榎本 弘）は本日、マスク描画装置の新しいコントロールプラットフォーム「Evo」を発表しました。Evoは最新の技術をベースにしており、生産の自動化や高度な接続機能およびデータ処理等、フォトマスク製造における新しい要求を可能にするために設計されました。

マイクロニックはフォトマスクを製造するマスク描画装置をご提供しており、様々な分野で使用されています。ディスプレイ（テレビ、スマートフォン、タブレット等）用及びマルチパーパス用の描画装置を取り揃えており、幅広いアプリケーションに対応することが可能です。

自動化とデータ分析のレベルが高まる傾向にあるフォトマスク業界では、より高い歩留まりを達成するために、よりクリーンで最適化され、安定した生産環境が必要とされています。このトレンドをサポートするために、マイクロニックはEvoプラットフォームを開発しました。

Evoコントロールプラットフォームは、生産自動化とビッグデータアプリケーションの両方における将来の要求を満たすように設計された、新しいソフトウェアおよびハードウェアアーキテクチャを基礎としています。自動化とデータ処理のソリューションはお客様により異なるため、Evoプラットフォームは様々なニーズに効率的に対応できるように設定変更が可能です。

Evoはまず第8世代サイズ対応のPrecisionシリーズとFPSシリーズに搭載されます。Evoを搭載した最初の装置は2020年半ばに出荷される予定で、搭載した装置は製品名の最後に「Evo」の表記を追加する予定です。

マイクロニック 描画装置担当上級副社長 Charlott Samuelsson のコメント：

「Evoはフォトマスク業界の将来のニーズを満たすように設計された先進的なコントロールプラットフォームです。マスク製造の現場においてビッグデータの利用と装置間の接続を可能にすることにより、生産歩留りの改善を実現する大きな可能性を持っています。」

*** 本件に関するお問い合わせ先 ***

マイクロニックテクノロジーズ株式会社
Tel: 042-433-9403 Fax:042-443-0015
広報担当 梁瀬 恵美子
E-mail: info_jp@mycronic.com

Mycronic AB について

Mycronic AB は、フォトマスク用の極めて高精度なレーザー描画装置と、エレクトロニクス産業向け表面実装装置の開発、製造、販売を行っているスウェーデンのハイテク企業です。レーザー描画装置は、世界中の主要なエレクトロニクス企業において、テレビスクリーン、フラットパネルディスプレイ、半導体の製造に幅広く使われています。ソフトウェアアプリケーションを含む表面実装装置は、電子部品の表面実装と、メタルマスク不要のハンダジェットプリンティングに用いられています。本社はストックホルム北の Täby にあり、中国、フランス、ドイツ、日本、シンガポール、韓国、オランダ、イギリス、アメリカに現地子会社を持ちます。ホームページ：www.mycronic.com